

「住民が主人公」の新しいまちづくりに 「居てくれないと困る」

12月18日
選択の日

市民要望ベスト5
(日本共産党のアンケートより)

国保税の引き下げ	56%
介護保険料の減額・免除	43%
厳正・公正な市政運営	42%
ごみ袋代の値下げ	41%
防犯灯の増設	41%

新旭市がスタートしましたが、合併時に先送りされた暮らしの問題がたくさんあります。国保税や介護保険料の「全市統一」、水道料金の見直しなどは来年度以降に、今度選ばれた人が決めます。新市のまちづくり「基本計画」も、実はこれからです。

新しい議会には、これ以上の市民負担増にキッパリ対決し、市民の願い実現を第一にすえた新しいまちづくりを積極的に提案できる人が必要です。



バツグンの発言力でムダなくし、暮らし最優先に

日本共産党現職(団長)の道理ある提案と鋭い追及は、常に市議会の論戦をリード。前市長時代には、3億円もの基金が必要な、旭市総合体育館の民間委託をやめさせました。

3年ごとにくり返されてきた水道料金値上げも、経営が好転していることを指摘して、この6年間ストップ。合併時には「1市3町の良い制度は継続に」と粘り強く訴え、旧旭市の介護保険利用料軽減や少人数教育を守り、新市全域に広げました。

積極提案、にぎわいのまちづくり

日本共産党現職は、便利で活気あるまちづくりを積極提案しています。市民と共同で、循環バスの「試行運転」を実現。全市本格運行めざして運行ルートの試案を提案し、みなさんの意見を生かします。



旭駅前通りは、県の拡幅事業がスタートしましたが、「まちづくり」の構想がありません。日本共産党現職は、駅前通りが「まちなぎわい」をとり戻す拠点になるように、文化施設や商業施設などを提案しています。

市民の声を市政に届ける議員らしい議員こそ

日本共産党のアンケートでも、「住民の声を議会に届ける」ことが市民の議員への期待です。四年に一度の「お願い」だけで、あとはろくに発言もせず、国保税の値上げなど住民負担増に賛成し続けている人では困ります。



コミュニティバスの導入は、日本共産党が七年前に住民の声を届けたことが始まりです。また、市民の小さな声も市政に届け、「ごみ収集力リーダー」ができました。

合併後も「高すぎる国保税・ゴミ袋を引き下げて」の声を署名にして、十一月十六日、市長に直接届けて引き下げを要請しました。

自民党と共産党、立場はまったく違うが、共産党現職(団長)はどうしても議会に必要です。(元旭市議)

「大丈夫」は共産党落しが狙い

他陣営の流す「共産党の現職は大丈夫、だからこちらに」の裏には、市民の立場で市政に物申す日本共産党現職を議会からしめ出したい、という狙いがあります。

共産党の現職が「大丈夫」と言われて一度落ちたとき、議長選の買収で逮捕者がでるなど、悪政が横行しました。共産党現職(団長)は、保守の議員も認める、かけがえのない存在です。

12月18日には

市民の願いを日本共産党現職・議員団長へ

日本共産党

国保税、介護保険、水道料金・・・これ以上の負担増にはキツパリ対決し

住民の願い実現に献身する人を

合併時にすぐれた制度を守り、広げました

2年半におよぶ合併協議のなかで、「合併で負担が増えないように、サービスが低下しないように」と粘り強く主張し続け、旧旭市の介護保険利用料の減免制度を守り、少人数教育を新市全体に広げました。

生活相談500件は市民との強いきずな

「国民の苦難あるところに日本共産党あり」が立党の精神。

市民からは、「親身な対応で助けられた」と高い評価の声が。生活相談500件は、市民との強いきずなになっています。

◆ すいせんします ◆

共産党現職（団長）とは、議会ではよくケンカもしました。しかし、よく勉強もし、誠実な政治家です。応援しています。（元旭市議会議員）

新旭市予算の2%で実現

国保税の一世帯2万円引き下げ **3**億円
 ゴミ袋代から手数料カット **7**千万円
 循環バス5台5路線 **5**千万円

小学校入学前までの医療費無料化や介護への助成を含めても、新市の予算のわずか2%。入札制度を改善し、市職員の努力で「何でも民間委託」を改めれば、財源は生み出せます。

市独自の農産物価格保障制度を

合併で新旭市の農産物生産高は県内第一位。市独自の後継者支援制度、農産物価格保障や産直運動への支援など、県内第一位にふさわしい農業振興で、旭市の特産品を育てます。

合併したら負担増ではなく 共産党議員もっと暮らしやすい旭市に 団長のお約束

循環バスの全市本格運行

各地域の循環バスの特長を生かしつつ、全市的な本格運行で、誰もが利用しやすいように充実させます。

駅前通りに文化施設 商業施設で「にぎわい」を

県の拡幅事業を生かすために、文化施設や商業施設を整備し、「にぎわい」のまちづくりをすすめます。

高すぎる国保税の一世帯2万円引き下げ

減免制度も充実させ、正規保険証の取り上げをやめさせます。



H16年度の国保税

区分	旧飯岡	八日市場	旧旭市
1世帯	167,734	167,735	175,494
1人	65,660	69,693	71,730

小学校入学前までの医療費無料化

全小学校区で学童保育も実施し子育て安心の旭市を。



介護の居住費 食費負担への助成

保険料・利用料への補助拡充も。



ゴミ袋代から手数料をカットして値下げ

ゴミ処理は国の補助金も出る、法律で決められた市町村の仕事。ゴミ処理手数料をカットして値下げを。

